

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	釧路理容美容専門学校
設置者名	学校法人朋友学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理容科	夜・通信	1050 時間	160 時間	
	美容科	夜・通信	1050 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	釧路理容美容専門学校
設置者名	学校法人 朋友学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.dhs-web.jp>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市議会議員	令和5年～8年	学校運営体制への チェック機能
非常勤	理容室経営	令和5年～8年	理・美容教育、学校 経営に関する意見
非常勤	美容室経営 美容協会会長	令和5年～8年	理・美容教育、学校 経営に関する意見
非常勤	美容室経営	令和5年～8年	理・美容教育、学 校経営に関する意 見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	釧路理容美容専門学校
設置者名	学校法人 朋友学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画(シラバス)の作成過程 理容師及び美容師養成施設指定規則に定められている教科課程の内容の基準を厳守し、必修課目8課目1410時間 選択必修課目600時間は、時代に沿った幅広い教養を身に付けられるようにカリキュラムを見直し新しいカリキュラム導入に積極性を持って取り組んでいる。必修課目・選択課目の内容が最大限に高まるようシラバスを作成する。</li> <li>・ 授業計画作成時期 : 年度内3月</li> <li>・ 公表の時期 : 新年度4月</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
成績評価基準	
各学期で行う筆記・実技試験において100点満点中60点以上を合格として、5段階評価とする。	
5 (100～90点)    4 (89～80点)    3 (79～70点)    2 (69～60点)	
1 (59点以下)	
授業課目の成績評価は、学年末に各学期に行う試験、実習の結果等を勘案して総合的に行う。	
また、各学期に行う試験で及第点に及ばない場合は、再試験を行う。	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>筆記・実習試験は各学期に行い、100点満点を上限として評価する。実習の試験においては、実技試験とする。</p> <p>試験の合計点数の分布状況を50点区切りで集計しGPA設定とする。</p> <p>試験の評価が不合格となった場合は、再試験、再々試験を行うが評価は60点を最高点とする。</p> <p>客観的な指標の算出方法は、必修科目において各学期に行われる筆記・実技試験の合格点を100点満点中60点以上として算出。結果を一覧表および分布表とし、状況を把握する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則に定める授業時数(2010時間)を履修し、各試験において60点以上の成績を修めた者。学費の滞納のない者</p> <p>学校長、副校長、教員による卒業認定会議の審議を経て校長がこれを決定する</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	釧路理容美容専門学校
設置者名	学校法人 朋友学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a>
財産目録	<a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a>
事業報告書	<a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	549 単位 時間/単位	単位時間 /単位	1470 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2019 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		11人	人	2人	11人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）1年間を3学期に分け、1授業時間を50分とする。 授業計画においては、2月から3月に翌年度の担当教員、講師と調整し作成する。卒業までの履修時間数を2年間で2010単位時間とする。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目の成績評価は、各学期の行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。筆記・実習試験は100点満点とし、60点以上で合格とする。成績評価の基準は、5段階評価とし、5, 4, 3及び2を合格とし、1を不可とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）筆記・実習試験において60点以上の成績を修め、履修時間が2年間で2010時間以上とし、卒業、進級条件を満たしていること。
学修支援等
（概要）放課後は、学校を開放し、個別練習や学習指導を可能としている。 筆記・実技試験において認定基準に満たなかった者への追試験、補習で補っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (83.3%)	0人 (16.7%)
(主な就職、業界等) 理容室			
(就職指導内容) 担任との個別相談、校内企業説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理容師国家試験受験資格 日本メイクアップ連盟検定2，3級 アイブロウ検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 生活習慣、遅刻・欠席状況により早期に個別面談、改善が見込めない時は、三者面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	549 単位 時間/単位	240 単位 時間/単位	1230 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2019 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		25人	人	2人	11人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）1年間を3学期に分け、1授業時間を50分とする。 授業計画においては、2月から3月に翌年度の担当教員、講師と調整し作成する。卒業までの履修時間数を2年間で2010単位時間とする。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目の成績評価は、各学期の行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。筆記・実習試験は100点満点とし、60点以上で合格とする。成績評価の基準は、5段階評価とし、5,4,3及び2を合格とし、1を不可とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）筆記・実習試験において60点以上の成績を修め、履修時間が2年間で2010時間以上とし、卒業、進級条件を満たしたことを、学校長、副校長、教員にて構成する認定会議で確認を経て認定する。
学修支援等
（概要）放課後は、学校を開放し、個別練習や学習指導を可能としている。 筆記・実技試験において認定基準に満たなかった者への追試験、補習で補っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	0人 ( 4.8%)	13人 ( 95.2%)	0人 ( 0%)
(主な就職、業界等) 美容室 まつ毛エステサロン			
(就職指導内容) 担任との個別相談、校内企業説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理容師国家試験受験資格 日本メイクアップ連盟検定2，3級 アイブロウ検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	1人	2%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 生活習慣、遅刻・欠席状況により早期に個別面談、改善が見込めない時は、三者面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	100,000 円	480,000 円	636,000 円	施設設備費、実習費、教材費、諸費
美容科	100,000 円	480,000 円	636,000 円	施設設備費、実習費、教材費、諸費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育活動及び学校運営等の質の保障と向上に努め、自己評価の結果と学校関係者評価の結果を検証し、今後の具体的取組みに活用することで、今後の改善方策について評価することを基本とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
鉦路理容組合会長	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日	業界団体
社会保険労務士 所長	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等役員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.dhs-web.jp">http://www.dhs-web.jp</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	釧路理容美容専門学校
設置者名	学校法人朋友学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考) 前年実績なし				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)
------

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。